

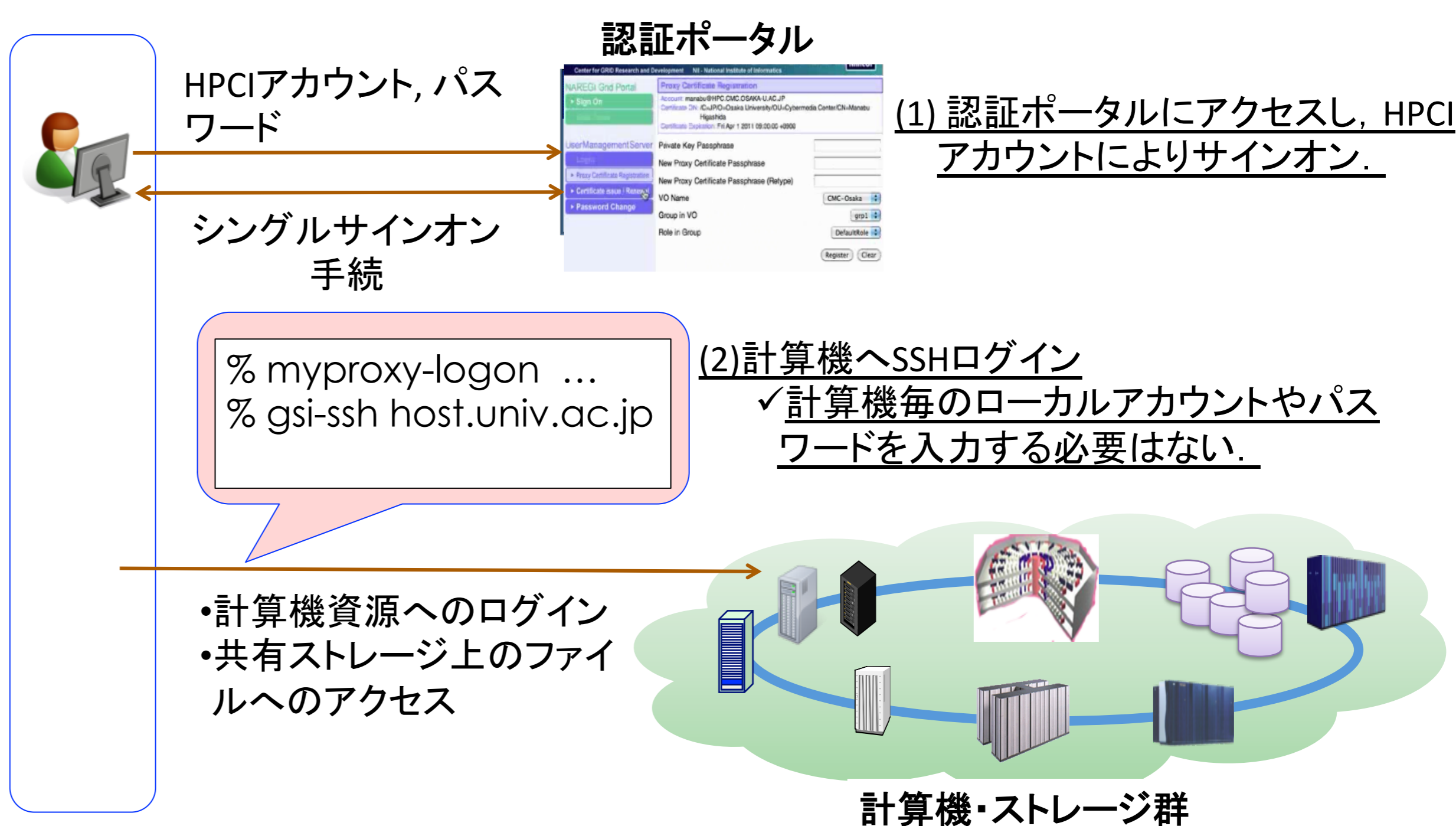


■目的

ネットワーク上に分散した様々な研究データを融合して処理することにより、未知の問題解決や科学的発見を行う新たな研究手法(e-サイエンス)が注目されている。e-サイエンスを実現するためには、ネットワーク上に分散した様々なデータを連携し、かつ高性能計算機群を用いてこれらのデータを高速に処理するためのグリッド基盤が必要となる。本研究では、我が国におけるe-サイエンスを活用した研究を促進することを目的し、学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点に設置された計算機、およびこれらを接続する学術情報ネットワークであるSINET4から構成される実用的なグリッド基盤を構築・運用するための技術に関する研究を行う。平成23年度は特に認証基盤に焦点をあて、平成22年度までに行った研究の成果を活用し、本格的なグリッド認証基盤運用に向けた実証実験を行う。また、本研究の成果を革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の詳細仕様策定に活用する。

■目標とする認証基盤

- ✓ Grid Security Infrastructure (GSI)による計算機群へのシングルサインオンの実現。(ユーザは、認証ポータルにアクセスしてサインオンするだけで、計算機群へSSHログインできる。)
- ✓ Shibboleth認証連携技術による情報基盤センター認証連携の実現。(ユーザは、どこか一つの情報基盤センターにアカウントを持てばよい。)



■計画

- ✓ NIIおよび9大学情報基盤センターからなる認証基盤テストベッド構築。
- ✓ テストベッドの運用性およびスケラビリティに関する検証(HPCIを想定した実証実験)

■参加機関

北海道大学, 東北大学, 筑波大学, 東京大学, 東京工業大学, 名古屋大学, 京都大学, 大阪大学, 九州大学, 国立情報学研究所

